



2022年11月吉日

アドミュージアム東京 × フェリシモ「ミュージアム部」 コラボグッズのご案内

～広告デザインの素敵な世界を日常で体験できるグッズが登場～

アドミュージアム東京（東京・汐留）は、2022年12月1日に開館20周年を迎えます。20周年を記念して、株式会社フェリシモ（本社:神戸市中央区 代表:矢崎和彦）が展開する「ミュージアム部」とコラボした「錦絵が描く江戸トレンド ジェル風ネイルシール」と「昭和モダン薫る マッチラベルスキマ香」の販売を12月1日より開始します。時代を越えて人々を魅了する広告デザインが持つ普遍的なおもしろさや愛おしさを、日常生活の中で楽しみながら感じることができるグッズ2点です。

江戸の庶民の娯楽として楽しまれた「錦絵」は指先を彩るネイルシールに、昭和モダンなマッチラベルは、世界観をイメージしたスティック香とともにお香のパッケージとして、いつもの暮らしを彩ります。グッズを通して、それぞれの時代を象徴するような美しい広告の世界にひたりながら、お部屋の中でも外出先でも、令和の暮らしとのコラボレーションをお楽しみください。



<商品の販売について>

商品はアドミュージアム東京内のミュージアムショップおよびフェリシモのウェブサイトにて販売いたします。フェリシモでの予約販売は11月21日からとなります。

報道関係のお問い合わせ先

アドミュージアム東京 担当：敦賀タッカー tucker@admt.jp TEL:03-6218-2500 www.admt.jp

News Release

◆コラボ商品のご紹介

【1】錦絵が描く江戸トレンド ジェル風ネイルシール (1セット¥1,705 税込)

現代のファッション誌やポスターのような役割も果たした、江戸の庶民の娯楽「錦絵」からデザインを抽出したネイルシールです。当時の流行の発信源ともなった絵の中の着こなしを、ネイルシールのデザインに落とし込んでいます。古典的でありながらラグジュアリーな雰囲気が漂う上品で華やかな世界を、令和のファッションと組み合わせて指先で楽しめます。

*商品詳細は、ミュージアム部 note をチェック >> <https://feli.jp/s/pr221121mu/1/>



デザインは〈江戸名所百人美女 人形町〉〈艶姿十六女仙 上利剣〉〈けいせい大淀 市川升之丞〉の3種類です。



三代 歌川豊国『江戸名所百人美女 人形町』
安政5(1858)年頃 アドミュージアム東京蔵

報道関係のお問い合わせ先

アドミュージアム東京 担当：敦賀タッカー tucker@admt.jp TEL:03-6218-2500 www.admt.jp



News Release



歌川国芳『艶姿十六女仙 上利剣』
嘉永期(1848-1854年) アドミュージアム東京蔵



初代 歌川国貞『けいせい大淀 市川升之丞』
天保10(1839)年 アドミュージアム東京蔵

ぷっくりジェルネイル調の質感が楽しめます。使い方も簡単。つめの先端にシールをのせるだけ。仕上げにお手持ちのトップコートを塗ると、さらに長持ちします。



報道関係のお問い合わせ先

アドミュージアム東京 担当：敦賀タッカー tucker@admt.jp TEL:03-6218-2500 www.admt.jp



News Release

【2】昭和モダン薫る マッチラベルスキマ香 (1セット¥770 税込)

アドミュージアム東京の「広告付きマッチラベル」コレクションの中から、デザインを再現したパッケージに、その当時のモダンな世界観を香りでイメージしたスティック香です。すきま時間でのリフレッシュにぴったりの燃焼時間約10分の長さです。昭和モダンの世界をデザインと香りの両方から楽しめます。使用後の箱は小物入れとしても使えます。

*商品詳細はミュージアム部 note をチェック>> <https://feli.jp/s/pr221121mu/3/>



昭和モダンの世界観をイメージした6種類の香りをご用意しました。1セットにお香50本と香立て1個が入っています。お香を使い終わったあとの箱は、小さなステーションナリーやアクセなど、小物入れとして使うのがおすすめです。

報道関係のお問い合わせ先

アドミュージアム東京 担当：敦賀タッカー tucker@admt.jp TEL:03-6218-2500 www.admt.jp



News Release



▶ フェリシモ「ミュージアム部™」について

アートが大好き、ミュージアムが大好き、そしてミュージアムグッズも大好き！

そんなフェリシモ社員が集まって、アートへの愛や多様なミュージアムの楽しみ方を多くの方と共有し合いたいという思いから、フェリシモ「ミュージアム部」は発足しました。

好きな作品、作家や展覧会への共感、知的好奇心を満たす快い驚き。これらを込めたオリジナルグッズの商品開発・販売のほか、展覧会を開催する側の想いを届けるミュージアムグッズの開発支援を行っています。また、美術館や博物館をもっと楽しむためのヒントを note、Twitter でも発信しています。活動を通じ、ミュージアムやアートをもっと身近に、もっと好きに、ますます楽しめるようになる未来を目指します。

- ・フェリシモ「ミュージアム部」ウェブサイト>> <https://www.felissimo.co.jp/museumbu/>
- ・Twitter(@f_museumbu)>> https://twitter.com/f_museumbu
- ・note>> https://note.com/f_museumbu
- ・公式ハッシュタグ #フェリシモミュージアム部

▶ アドミュージアム東京について

広告を通して新しい発見に出合う場所。日本唯一の広告ミュージアム

2002年に開館以来、200万人を超える方々にご来館いただき、広告の社会的・文化的価値への理解を深めていただく活動を行っています。江戸時代から現代まで約33万点の収蔵資料を誇り、ライブラリーでは、広告とマーケティング関連書籍の閲覧、広告作品のデジタルアーカイブを検索・閲覧することができます。



報道関係のお問い合わせ先

アドミュージアム東京 担当：敦賀タッカー tucker@admt.jp TEL:03-6218-2500 www.admt.jp